

平成30年度 上伊那圏地域自立支援協議会議事録

会議	部会名	第1回 権利擁護 部会	参加者数	25人	会場	伊那市 福祉まちづくりセンター 2階 大会議室
	日時	平成30年6月14日(木) 13:30 ~ 15:15				
主テーマ	<p>1 昨年度の活動報告と今年度の活動方針</p> <p>2 権利擁護に関わる事例検討</p> <p>3 権利擁護事例集作成に向けて</p>					
主な意見など	<p>1 について(矢沢部会長より)</p> <p>(1) 昨年度の活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会は、年4回開催した。 ・事例検討等の他、触法障がい者の地域支援課題について、保護観察官の立場から講演をいただいた。 ・権利擁護の事例集作成と権利擁護に関する啓発物の作成が、今後の課題となっている。 <p>(2) 今年度の活動方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も部会は年4回開催する予定。 ・触法障がい者の地域支援のあり方について、研修会等を通して引き続き考えていきたい。 ・権利擁護の事例集の作成及び若者向けの権利擁護啓発物作成の2点を目標に掲げた。皆さんのご意見をいただきながら、検討を進めていきたい。 <p>(3) 質疑応答・意見等 なし。</p> <p>2 について(参加者全員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○権利擁護に関する1事例について、1グループ5~6人、計4グループに分かれて事例検討を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・事例提供者による事例発表 ・グループごとの事例検討 ・グループ討議の要点の発表・共有 ・法律的視点及び福祉的視点からのコメント(まとめ) ○事例 (略) <p>3 について(参加者全員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○権利擁護の事例集を作成するにあたり、どのような事例集なら見たい、使いたいと思うか、どんなイメージの事例集を作りたいかについて、グループワークで意見を出し合った。 ○参考資料として用意された他県の障害者虐待事例集なども参照しながら、グループごと話し合いを深めた。 <p>○出された主な意見は、次のとおり。(順不同)</p> <p>(1) 内容(コンセプト)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず「権利」とは何かをはっきりさせることが大切。→新たな事例、不適切事例も出てくるかもしれない。 ・聴覚障がいなど、見た目では分からない障がいについても知ってもらえる事例集がよい。 ・虐待や差別といった重たい話題だけでなく、成功事例も載せたらどうか。 ・家族や支援者が虐待と認識していない事例も載せたほうがよい。 ・権利擁護について、支援者視点以外にも多角的な視点からの見方を盛り込んだ事例集になるとよい。 <p>(2) レイアウト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字ばかりでは読みづらい。→箇条書きにするなど工夫を。 ・見やすさが大切。→カテゴリー別にまとめる。シンプルな様式を用いる。 ・経過と概要、コメントだけでなく、結果をどんなふうにとまとめたのか、どう方向づけたのかをコメントの前に入れるようにしたらどうか。 <p>(3) 項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面(シチュエーション)別で分けたらどうか。 ・立場(施設従事者、雇用主、家族等)で分けたらどうか。 ・緊急性で分けたらどうか。(緊急度の指標や経過もあると分かりやすい) <p>(4) 対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布範囲をどのように考えるか。(福祉関係の事業所だけなのか、一般企業にも配布するのか等) ・配布対象は、誰なのか。支援者? 一般の方? 当事者? 等。 					
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動計画を皆で検討し、事例検討を通して権利擁護に対する意識を深めることができた。 ・権利擁護の事例集作成に向けて、どのような事例集にしていきたいかを皆で検討することができた。 					
次回	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細については、後日お知らせする。 					